# Googleタグマネージャーの設置(セッションIDトラッキング×imgタグ編)

ATタグをGoogleタグマネージャーに登録する基本的な設定方法です。

- 1. アカウント作成
- 2. ベースコードの保存
- 3.変数の追加
- 4. トリガーの追加
- 5. タグの追加
- 6. バージョンの作成と公開 7. CVタグの設置

### 1. アカウント作成

アカウントを	と作成ボタンを押します。					
🔷 タグ	マネージャー すべてのアカウント・			::	?	:
	アカウント		۹ 🕫	アカウントを作成		
	AccessTrade			¢ :		
	コンテナ名 个	コンテナの種類	コンテナ ID			
	www.mysite.com	ウェブ	GTM-K5VTVH6	:		

#### アカウント名、コンテナ名を入力し、ウェブを選択して作成ボタンを押してアカウントを作成します。

+ 💠 Google	gle タグマネージャ	
アカウント ワーク	-クスペース バージョン 管理	
管理 > 7	> アカウントの作成	
	新しいアカウントの追加 1 アカウントの設定 7カウンネ (例) AccessTrade 0 Google や他の人と聞るでデータを共有 王 読行 2 コンテナの設定 1 サンセル	

### 2. ベースコードの保存

アカウント作成後、GTMのベースコードが生成されます。

一時的にテキストファイル等にコピーして保存して下さい。



### 3. 変数の追加

使用する報酬タグに応じ、以下の変数を追加します。

	定額報酬	売上報酬	商品個別報酬	
verify	0	0	0	識別子
value		0		売上金額
vi			0	商品個別用変数["商品ID.商品数量.商品単価"]
rk	0	0	0	セッションID

変数ボタンを押します。



#### ユーザー定義変数の新規ボタンを押します。

<b>-クスペース</b> バージョン	管理	GTM-K6GKXLJ ワークスペースでの変更!	数:0 プレ	ノビュー
fault Workspace	組み込み変数 ③	Q	設定	
	名前 个	タイプ		
サマリー	Event	カスタム イベント		
タヴ	Page Hostname	URL		
トリガー	Page Path	URL		
変数	Page URL	URL		
フォルダ	Referrer	HTTP 参照		
テンプレート		_		
	ユーザー定義変数	l	新規	
		このコンテナにはユーザー定義変数がありません。[新規] をクリックして作成してください。		



### CV\_URL

それ以外の変数を設定する場合は②を選択して下さい。

× 無題の	D変数 ロ		×	変数タイプを選択	Q
	変数の設定		D	コミュニティ テンプレート ギャラリーで変数タイプをさらに見つけましょう	>
			ナビ	ゲーション	
		1	) 😐	<b>HTTP 参照</b> この値は、HTTP 参照に設定されます。	_
			0	URL	
		変数タイプを選択して設定を開始 詳細	~-	ジ変数	
			6	<b>JavaScript 変数</b> この値は、指定したグローバル JavaScript 変数に設定されます。	
		(2	•	カスタム JavaScript この変数では、指定した JavaScript 開設に基づきブラウザでその値を計算します。この変数 使用されるたびに、JavaScript 開設が実行され、その戻り値が使用されます。	\$.15 <sup>c</sup>
			0	データレイヤーの変数	
			0	ファーストパーティ Cookie この値は、名前が一致するファーストパーティ Cookie の最初の値に設定されます。	_
			~-	ジ要素	
			0	DOM 要素 この値は、DOM 要素のテキストまたは指定した DOM 要素の気性の値に設定されます。	

(例)

データレイヤーの変数をクリックしデータレイヤーの変数名にverifyを入力して保存ボタンを押します。

e 🔷 -	タグ マネー	× 無題の	変数 🗅			保存	:
ワークスペー 現在のワーク2	ース バージョ	ſ	変数の設定				
Default Wor	rkspace >		変数のタイプ				
	_ر		😳 データレイヤーの園	を数	1		
■ 90			データレイヤーの変数名 ⑦				
• FUX	5-		verify	aich.			
●● 変数			データレイヤーのバージョン				
フォル	レダ		バージョン 2	*			
D テンプ	ブレート		□ デフォルト値を設定				
			> 値の形式 ③				

#### 上記手順で入力した変数名とあわせて保存ボタンを押します。

< 🔷 タグマネー	× 無題の変数 🗅			保存 :
<ul> <li>ワークスペース バージョ</li> <li>風在のワークスペース</li> <li>Default Workspace</li> <li>サマリー</li> <li>タグ</li> <li>トリガー</li> </ul>	<ul> <li>変数の設定</li> <li>空気のタイプ</li> <li>ご デー・</li> <li>データレイヤーの3</li> <li>verify</li> <li>データレイヤーの3</li> <li>バージョン 2</li> </ul>	<ul> <li>変数名の変更</li> <li>変数を作成する前に名前を付けてください。</li> <li>変数を</li> <li>verify</li> <li>キャンセル</li> </ul>	× 保存	
<ul> <li>         ・ 変数         ・         ・         ・</li></ul>				

保存した変数がユーザー定義変数の欄に表示されます。 設定する変数に応じて手順を繰り返して下さい

フークスペース パージョン	管理	GTM-K6GKXLJ	ワークスペースでの変更数:1	プレビュー
現在のワークスペース Default Workspace >	組み込み変数 ③		Q	設定
	名前 个	タイプ		
-U2A	Event	カスタム イベント		
▶ 90	Page Hostname	URL.		
● トリガー	Page Path	URL		
■ 変数	Page URL	URL		
フォルダ	Referrer	HTTP 参照		
ラ テンプレート				
	ユーザー定義変数		Q	新乐规
	□ 名前 个	タイプ	最終更新日	
	verify	データレイヤーの変数	数秒前	

# 4. トリガーの追加

CVタグを表示するタイミングを設定します。

トリガーをクリックして新規ボタンを押します。

			3162.0011		ロークフィーフェの応用物の	-11.12-
teop-ozx-z fault Workspace ・ ・ サマリー このコンテナにはトリガーがありません。[新規] をクリックして作成してください。 ・ タグ ・ トリガー ・ 変数 ・ フォルダ ・ テンブレート		官理		GTM-KOGKXLJ	ワークスペースでの変更数:3	-121
<ul> <li>サマリー         このコンテナにはトリガーがありません。[新規]をクリックして作成してください。</li> <li>タグ</li> <li>トリガー</li> <li>変数         フォルダ         テンプレート</li> </ul>	在のワークスペース Ifault Workspace >	トリガー				新規
<ul> <li>タグ</li> <li>トリガー</li> <li>変数</li> <li>フォルダ</li> <li>テンプレート</li> </ul>	サマリー		このコンテナにはトリナ	ガーがありません。[新規] をクリックし	て作成してください。	
トリガー       変数       フォルダ       テンプレート	タグ					
<ul> <li>変数</li> <li>フォルダ</li> <li>テンプレート</li> </ul>	) トリガー					
フォルダ テンプレート	変数					
テンプレート	フォルダ					
	テンプレート					



ページビューをクリックします。

× 無題のトリガー ロ	× トリガーのタイプを選択 (
トリガーの設定	ページピュー i DOM Ready
	ワインドウの読み込み
	⊚ ≺-≫೮⊐-
トリガーのタイプを選択して設定を開 詳細	④ 初期化
	③ 同意の初期化
	クリック
	すべての要素
	ユーザー エンゲージメント
	YouTube 動面

トリガーの設定枠をクリックするとトリガーの発生場所とトリガーの選択ボックスが表示されます。

オレンジ枠の部分を入力し、保存ボタンを押します。

< 🔷 タグマ:	× 無題のトリガー ロ	R# :
	トリガーの設定	
Default Workspace	トリガーのタイプ	
📄 <del>४</del> २७-	<ul> <li>ページビュー</li> </ul>	
<ul> <li>タグ</li> <li>トリガー</li> </ul>	このトリガーの発生場所 〇 すべてのページビュー <ul> <li>         ・ 節のページビュー     </li> </ul>	
11 変数	イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します	
フォルダ	Page URL ・ 等しい ・ http://your-conversion-page.com ・	
D 7270-F		

トリガー一覧に作成したトリガーが表示されます。

<ul> <li></li></ul>	ジャー www.mysite2.com	de2 <b>Q</b> 検索ワークス	ベース		:: 0	:
ワークスペース バージョン	ン 管理		GTM-K6GKXLJ 5	ワークスペースでの変更数: 4	プレビュー	2
現在のワークスペース Default Workspace >	トリガー				Q、 新規	
	□ 名前 个	イベントタイプ	フィルタ	タグ 最終更新	8	
🚍 サマリー	ページビュー	ベージビュー	Page URL 等しい http:	//your-conversio0 数秒前		
<ul> <li>タグ</li> </ul>						
トリガー						
<b>兰</b> 変数						
🖿 フォルダ						
D テンプレート						

## 5. タグの追加

アクセストレードから発行されたタグを設置します。 定額、売上、商品個別どれも設置方法は同じです。※下記例は定額報酬です タグをクリックして新規ボタンを押します。



カスタムHTMLをクリックします。



アクセストレードから発行されたタグをHTMLの欄に設置します。

4	タグマ:	× カスタム HTML ロ	保存	:
9-	-クスペース バ	タグの設定		
現在	のワークスペース	タブの機類		
Def	fault Workspace	<> カスタム HTML カスタム HTML タグ		
	サマリー	HTML ()		
	90	<pre>(ing_src="https://is.accesstrade.net/cgi-bin/isatVZ/(タグ名)/isatWeaseV2.cgi?result_id=1&amp;verify={(verify)}&amp;rk={(rk)}" width="1" height="1"&gt;</pre>		
۲	トリガー			
-	変数			
	フォルダ			
D	テンプレート			
		トリガー		
		配信トリガー		

アクセストレードから発行されたタグの全角部分を3で追加した変数名に置き換えます。

コピペしないでください。	
下記タグをそのまま貼り付けるとエラーが発生します。正式にATから発行したタグで設定してください。	

### 定額報酬

```
<img src="https://is.accesstrade.net/cgi-bin/isatV2/()/isatWeaselV2.cgi?
result_id=1&verify={{verify}&rk={{rk}}" width="1" height="1">
```

### 売上報酬

```
<img src="https://is.accesstrade.net/cgi-bin/isatV2/()/isatWeaselV2.cgi?
result_id=2&verify={{verify}&rk={{rk}&value={{value}}" width="1"
height="1">
```

#### 商品個別報酬

```
<script>
var vistr = "&vi=";
for(var i=0; i<{{vi}}.length; i++){
    vistr+={{vi}}[i];
    if(i<{{vi}}.length-1) vistr+=("&vi=");
    }
    var img_element = document.createElement('img');
img_element.src = 'https://is.accesstrade.net/cgi-bin/isatV2/()
/isatWeaselV2.cgi?result_id=3&rk={{rk}}&verify={{verify}}&vi=' + vistr;
</script>
```

タグにトリガーを設定します。

÷ •	タグマ:	× 名前のないタグ ロ	RØ :
ワー 現在の Defa	クスペース パー カワークスペース ault Workspace		
	サマリー	ĸ	
•	タヴ	□ document.write をサポートする ⑦	
۲	トリガー	> 詳細設定	
-	変数		
	フォルダ	トリガー	
D	テンプレート	トリガーを選択してこのタグを配信 FFM	

### 手順4で作成したトリガーを選択します。

×	名前のない	×	トリガーの選択			Q	+
	k		名前 个	タイプ	フィルタ		
		0	All Pages	ベージビュー			
		0	Consent Initialization - All Pages	同意の初期化	-		
		٢	Initialization - All Pages	初期化			
		0	ベージビュー	ベージビュー	Page URL 等しい http://your-conversion-p		6
	トリガ						

保存ボタンを押して保存します。

< 🔷 タグマ	× カスタム HTML ロ	保存	:
ワークスペース 現在のワークスペース Default Workspace	HTML ② 1 <ing_src="https: (タグ名)="" is.accesstrade.net="" isatv2="" isatweaseiv2.cgi?result_id='1&amp;verify={[verify]&amp;rk=[[rk]]"&lt;br' ogi-bin="">width="1" height="1"&gt;</ing_src="https:>		
<ul> <li>サマリー</li> <li>タグ</li> <li>トリガー</li> <li>変数</li> </ul>	К		
<ul> <li>フォルダ</li> <li>テンプレート</li> </ul>	<ul> <li>□ document.write をサポートする ③</li> <li>&gt; 詳細設定</li> <li>トリガー</li> <li>配信トリカー</li> <li>◎ ページビュー</li> </ul>		

## 6. バージョンの作成と公開

右上の「公開」ボタン押下でバージョンが自動作成されます。						
◆ 夕グマネージャー <sup> すべてのアカウント &gt; AccessTrade2</sup> www.mysite2.com ▼   Q 検索ワークスペース						
ワークスペース バージョン	管理	<b>GTM-</b> К	6GKXLJ ワークスペースでの変更数: 0	プレビュー 公開		
現在のワークスペース Default Workspace → ● サマリー ● タグ	<ul> <li>新しいタグ</li> <li>50 種類を超えるタグ タイプから1つ選択します</li> <li>新しいタグを追加</li> </ul>	現在編集中 : Default Workspace	公開中のバージョン <sub>バージョン 2</sub>			
<ul> <li>トリガー</li> <li>変数</li> <li>フォルダ</li> </ul>	説明	ワークスペースの変更 0 0 0 修正済みの数 追加済みの数 削除済み数	最新バージョン バージョン 2			
D テンプレート	説明を編集	ワークスペースを管理	最新バージョン	>		
	ワークスペースの変更					

## 7. CVタグの設置

CVページに下記タグを設置してください。 ※ 下記はサンプルになりますのでGTMのスニペットコードについてはGTM側から直接コピーしていただき、スニペット上部にデータレイヤーの変 数を設定の上、ご記載お願いいたします。

'ここに識別子'など全角表記の箇所には実際の値をセットしてください 各変数(verify、value、vi等)の詳細仕様については、アクセストレード導入仕様書を参照ください。 コメントは外してください。 //のコメント付きだとエラーになりますので、コメントは外して設置してください。

#### 定額報酬タグ

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': '',
   'rk': 'ID'
  }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event:'gtm.js'});var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=l!
='dataLayer'?'&l='+l:'';j.
async=true;j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document,'script','dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
>
```

### 売上報酬タグ

```
<script>
  dataLayer = [{
    'verify': '',
    'value': '',
    'rk': 'ID'
  }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[l]=w[1]||[];w[1].push({'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event:'gtm.js'});var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
```

### 定額報酬タグの設置例

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': 'testTEIGAKU',
    'rk': '0000xxxxxxxx-
xx '
 }]; // 180byte
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[1]=w[1]||[];w[1].push({'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event:'gtm.js'});var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=l!
='dataLayer'?'&l='+l:'';j.
async=true;j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document,'script','dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
>
```

### 売上報酬タグの設置例

```
<script>
  dataLayer = [{
    'verify': 'testURIAGE',
// 180byte
    'value': '2500',
//
    'rk': '0000xxxxxxxxx
xx'
    }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
```

```
j=d.createElement(s),dl=l!
='dataLayer'?'&l='+l:'';j.
async=true;j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document,'script','dataLayer',
'*******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --->
```

#### 商品個別報酬タグ

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': '',
    'vi': ["ID..","ID..","ID..
"],
    'rk': 'ID'
 }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event:'gtm.js'});var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=l!
='dataLayer'?'&l='+l:'';j.
async=true;j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document,'script','dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
>
```

```
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[1]=w[1]||[];w[1].push({'qtm.
start':
new Date().getTime(),
event:'gtm.js'});var f=d.
getElementsByTaqName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=l!
='dataLayer'?'&l='+l:'';j.
async=true;j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document,'script','dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
>
```

```
商品個別報酬タグの設置例
```

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': 'testKOBETU',
// 180byte
    'vi': ["apple.1.800","
banana.2.2500"], //
    'rk': '0000xxxxxxxx-
******
xx'
 }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event: 'gtm.js'}); var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=l!
='dataLayer'?'&l='+l:'';j.
async=true; j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document, 'script', 'dataLayer',
```

```
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
>
```

#### ※ GTM側の設定は以上になりますが、セッションIDトラッキング対応の為、下記を行ってください。

ATから渡すrkパラメータ(atss)を下記方式でLPページからCVページまで引き継いでください。 atssパラメータは広告成果をトラッキングするための、AT発行のセッションIDです。送信時のパラメータ名の変更は「可」



引き継ぎ方	概要	参考
Cookie保存	LP:受け取ったatssをCookieに保存してください。 保存期間90日以上 CV:Cookieに保存されてるatssを取得して、rk に置き変えてATへ成果通知してください	<ul> <li>※成果通知に関しては「3.成果通知方式」を参照ください。</li> <li>※ITPの影響を受けるため、JavaScriptでのCookieの保存は 使用しないでください。</li> <li>※httponly属性とSecure属性での設定をお願いいたします。</li> </ul>